

大阪府みどりの基金 事業報告書 2014





大阪府みどりの基金

設立：昭和 58 年

基本方針：基金及びその収益金で、緑化の推進及び良好な自然環境の保全を図ることを目的としています

ご あ い さ つ

今年も大阪府みどりの基金の事業報告書が完成しました。みどりの基金にご寄附いただいた皆様に改めてお礼申し上げます。

平成 25 年度も、いただいたご寄附を活用してさまざまな事業を実施いたしました。本報告書では、基金事業を活用して緑化に取り組んだ団体の声や写真を中心にまとめました。皆様の事業所やご自宅の近くで緑化の取り組みが進んでいることを実感していただければと思います。

今後とも、大阪府みどりの基金への応援をよろしくお願いいたします。

平成 27 年 1 月

みどり・都市環境室長 勝又 章



(ロケ地) 吹田市立桃山台小学校

C O N T E N T S

■ みどりの基金を活用した事業	・・・	3
■ みどりづくり活動助成	・・・	4
■ 樹木の配付事業	・・・	7
■ おおさか芝生教室事業	・・・	9
■ 芝生化アシスト事業	・・・	10
■ あのと時のみどり	・・・	11
■ 寄附者のご紹介	・・・	13
■ タイアップ事業のご紹介	・・・	14
■ 「大阪府みどりの基金」への寄附	・・・	17

大阪のまちにみどりを増やすため、 みどりの基金を活用して、いろいろな緑化事業を展開しています

▶ みどりづくり活動助成

地域の緑化を推進するため、地域住民や NPO 等の方々が協働で実施する樹木の植栽、幼稚園等の園庭の芝生化や花壇づくり等の地域の緑化活動を公募により選定し、必要な経費の 1 / 2 (上限 300 万円) を助成しています。

【平成 25 年度実績】 3 団体に対して、計 413 万円を助成

▶ 詳しくは P.4~6 をご覧ください



▶ 樹木の配付事業

身近な“みどり”を増やし、潤いのある街にするために、地域住民の方々が協働して行う地域緑化活動に対して、無償で樹木を配付し、地域と連携した市街地の緑化を推進しています。

【平成 25 年度実績】 2,433 本の樹木を配付

▶ 詳しくは P.7~8 をご覧ください



▶ おおさか芝生教室事業

地域の方々が継続的に芝生を維持し、芝生を通じた地域コミュニティの活性化が図られるよう、地域の方に芝生の維持管理や地域づくりに関する知識・技術等を身につけてもらい、地域が自立して取り組める人材の育成を行っています。

【平成 25 年度実績】 34 団体に対して実施

▶ 詳しくは P.9 をご覧ください



▶ 芝生化アシスト事業

大規模な芝生化を実施した団体を対象に、効率的な芝生の管理に必要な乗用式芝刈機等の無償貸与や資材の一部支給の他、補植用芝生の配付等の回復作業支援により、地域活動の取組みを支援しています。

【平成 25 年度実績】 資材支給：5 団体

回復作業の支援：30 団体

▶ 詳しくは P.10 をご覧ください



みどりづくりの仲間を増やしていきたいです



芝張り作業中です

しゃがんでの作業は足にも腰にも負担がかかります。みんなで冗談を言ったり、励ましあいながら、ようやく完成。



いい仲間です

会長によると「住民も高齢化して、昔なら遠くまでお花見や紅葉狩りに行くことができたのですが、なかなか難しくなってきたので、それならマンションの中にお花見や紅葉狩りを楽しめる場所を作ろうと思い、申し込みました。」とのこと。春にはお花見、秋には紅葉狩りをされて、楽しまれたようです。



歩道沿いも緑がいっぱい！

サンフラワー・ガーデニングクラブでは、南港はなのまち住宅の大規模修繕に伴い、マンション周りにソメイヨシノやイロハモミジなど中高木 56 本、低木 406 本と芝生 156 m²などを植樹されました。

作業は、寒空広がる 2 月に、5 日間に渡り行われました。はじめはガーデニングクラブで、最終日は、マンションの住民にも呼びかけ、植樹されました。



植樹後は、せっかくだいた木なので枯らさないようにと、夏場は、毎日、水遣りされたそうです。

住民からの反応もよく、緑化に対して興味がなかった住民からも「きれいになったね。ありがとう。」と大変喜ばれているようです。



シダレザクラの下、お花見しました

ガーデニングクラブも、今回の植樹で 10 人から 30 人にメンバーが増えており、今後、募集を募り、仲間を増やしていきたいとのこと。また、活動も、マンションだけでなく、まちの緑化活動にも広がってほしいとのこと。

サンフラワー・ガーデニングクラブ
施設名：南港はなのまち住宅（大阪市）
緑化面積：497 m²

子どもたちに自然と触れ合っほしい



芝張り、楽しかったよ！

園児や保護者から「芝張り作業が楽しかった。もう一度したい。」と大好評だったそうです。芝張り作業の後には、保護者の方が集まり、芝生の目地入れを行いました。その後、芝刈りや水遣りの方法も学ばれました。

春日丘幼稚園育友会では、子どもたちに自然と触れ合っほしいという思いから、創立45周年を記念して園庭176㎡の芝生化をされました。



目地入れは、重労働です！



芝生の管理についても、勉強しました

園長先生によると「芝生の横がビオトープなので、芝生にバッタなどの虫が遊びに来ます。みんな目を輝かせて、虫取りしたり、観察したり。

その他にも、年長さんのブリッジ大会を行ったり、親子遠足で利用したりしています。

また、10月に芝生教室を開き、ウィンターオーバーシードの勉強もされ、みんなで力を合わせて、よい状態を保てるように取り組まれています。



今日も、虫さん遊びに来てるかな



芝生最高だね！

自分で張った芝生に愛着があるのか、子どもたちも外遊びが大好きになりました。」とのこと。

芝生の良さを実感されているようです。

春日丘幼稚園育友会
施設名：学校法人徳風学園春日丘幼稚園（枚方市）
芝生化面積：176㎡

みどりのカーペットは、みんなのお気に入り！



みんなで力をあわせてがんばりました！

スタートの合図とともに、一斉に芝張り。園児も大きな張り芝を運んでいきます。みんなで力をあわせて、芝張り作業が完了。あっという間にみどりのカーペットが完成しました。



芝生の上は気持ちいいよ！

また、近隣の高齢者施設の利用者も遊びに来られるそうです。芝生化を通じて、地域の交流も深まっているようです。



遊具の下も芝生だから、思いっきり遊べるね

泉大津市立穴師幼稚園では、夏休みを利用し、園児、保護者や地域住民が集まり、園庭の外周 504 m²の芝生化をされました。

園長先生によると「園児たちも、芝生の上が大好きで、気持ちよさそうに寝転がったり、元気よく駆け回ったりしています。遊具の下にも芝生を張ったのですが、落ちてても痛くないせいか、思い切り遊べているようです。

園内の土ほりが少なくなって、掃除するのが楽になりました。芝生化して本当によかったです。」とのこと。



落ちてても痛くないよ

泉大津市立穴師幼稚園 PTA
施設名：穴師幼稚園（泉大津市）
芝生化面積：504 m²

樹木の配付事業

地域のみなさんが行う緑化活動に 2,433 本の樹木を配付しました！

▶ 高木を 108 箇所、2,433 本配付しました

カイツカイブキ	122 本	コブシ	32 本
キンモクセイ	247 本	サルスベリ	198 本
サザンカ	497 本	ソメイヨシノ	391 本
ヤマモモ	56 本	ハクモクレン	57 本
イロハモミジ	282 本	ハナミズキ	326 本
ウメ	225 本		合計 2,433 本



樹木の配付事業を活用して、植樹された団体の方々のご紹介します

残すことの大切さ、助け合うことの大切さ

▶ 箕川河川敷（箕面市）/箕川・水とみどりの会

10 年前に 5 本のウメを植樹されたのがはじまり。今では、箕川沿い 1.3 キロメートルに 134 本のウメが植樹されています。当初は、放置状態であったゴミ問題が最重要課題であったとのこと。ごみを捨てるなというより、川をきれいにしたほうが、ごみが少なくなるのではと思い、緑化に取り組まれたそうです。しだいに住民の意識が高まり、当初 67 袋あったゴミも 6 袋程に。その後、川の水路確保や土手整備など活動を広げられています。

そうした努力が実り、ブロック護岸の人工的な河川にもかかわらず、初夏にはホタルが舞うそうです。また、初春にはウメやスイセン、夏にはキショウブ、秋にはコスモスなど四季折々の花々が咲き乱れています。「この里の四季豊かな川並みを、まちに残していきたいです。地元の小学生に、植樹活動や環境講演を通じて、残すことの大切さ、助けあうことの大切さを伝えていきます。」とのことでした。



何十年、何百年と、地域を見守る森に

▶ 弘川寺（河南町） / NPO 法人里山倶楽部

NPO 法人里山倶楽部では、弘川寺とその周辺の山にイロハモミジなど 129 本を植樹されました。西行法師終焉の地といわれる寺は桜の名所として知られていますが、春は桜、秋には紅葉を楽しめるよう植樹されたそうです。

倶楽部では、月 1 回集まり、草刈や間伐など里山の保全活動をされています。他にも定期的に地元の小学生に植樹や炭焼きなどの自然体験活動を指導されたり、阿倍野ハルカスで木工のワークショップを開いたり、里山の楽しみを伝えています。

「願わくは、花の下にて春死なん、その如月の望月のころ」、西行がこの地にて辞世の句を詠んでから約八百年。さらに何十年、何百年と地域を見守る豊かな森を創っていききたいとのことです。



西行終焉の地といわれる弘川寺



地元の小学生に植樹を指導

木の植え方から学びました

▶ 貝塚市立中央小学校みどりの会（貝塚市） / 貝塚市立中央小学校

中央小学校では、PTA ガーデニング部と児童委員会の栽培委員会が協力して、校庭周りにソメイヨシノやサザンカなど 18 本を植栽しました。

子どもも大人も木を植えるのは、はじめてで、みんなで木の植え方から勉強しました。「苗木は深植えしたらあかんねんな。植え付けた後はたっぷり水をやらないとあかんねんな。」と興味津々。その後、班にわかれて植樹しました。植えた後も、木のことを気にかけてくれ、調子が悪いと先生に報告に来てくれるようです。また、卒業生も、木が元気に成長しているか見に来てくれるそうです。みんなが大きくなる頃には学校がみどりで包まれることでしょう。その時はまた遊びに来てくださいね。



木の植え方から学びました



PTA ガーデニング部で玄関周りを花飾り

みどりのワンダーランド

▶ 吹田市立桃山台小学校 芝生面積：825 m² (ウィンターオーバーシード編)

桃山台小学校の中庭には、田んぼ、ピオトープ、青空教室、蝶の楽園、椎茸ランド等があり、芝生がそれらをつなぎ、魅力いっぱいの空間となっています。そこを授業で活用するほか、保護者から持ち込まれた企画など、様々な体験学習を実施されています。その一つが、芝生の上でのキャンプ。身近にキャンプを楽しむことができるということで、希望者の4年生56人が、1泊2日でテント設営やバーベキューの仕方などを学びました。「バーベキューが楽しかった。夜はテントの中でお友達とたくさんおしゃべりした。」と、みんなに笑顔が広がりました。その他にも、自然観察会を開催したりと、芝生はみんなのワンダーランドとなっています。

維持管理についても、1年中青々とした芝生を維持できるよう芝生化実行委員会が芝生教室でウィンターオーバーシードを学ばれました。



芝生の上でキャンプ



芝生教室にて



ピオトープ



こんな素敵な教室で勉強したいな

天美北の芝は一日にしてならず

▶ 松原市立天美北小学校 芝生面積：952 m² (ウィンターオーバーシード編)

目にも鮮やかな緑が広がる天美北小学校。芝生を見れば、愛情をこめて維持管理されていることがわかります。芝生化実行委員会ですべて週に芝刈りされているので、芝生の目はぎっしり。驚いたことに、当初芝生化された面積よりも少し大きくなっているとのこと。

学校の休み時間や授業で利用するのはもちろん、土曜子ども体験活動の一環として、近くの阪南大学生が子どもたちにスポーツ教室を開いてくれたり、様々な遊びを行ったりしています。また地域の方々がランドゴルフを楽しんだり、地域のみみんなの憩いの場所にもなっています。

今回、芝生化実行委員会が芝生教室でウィンターオーバーシードについて学ばれました。この体験をいかし、みんなの芝生を守っていききたいとのこと。



愛情こめて管理された芝生



芝生教室にて



芝生があるって最高だね